

ヘルスマーター

がん検診について

皆さんはがんにどのようなイメージがありますか？普通なら命を奪う怖いものと考えられるでしょう。確かに、進行してしまうと治すことが極めて困難なものです。

しかし、早期発見できれば完治することもできる病気です。ここに健康診断とがん検診の意義があります。つまり、早期発見の機会が高まるということです。

健康診断(健診)は文字通り、自身の健康状態を診断し、病気の兆候がないかを調べるものです。一方、検診は、ある特定の病気に罹っていないかを調べるものです。その分、健康診断よりも精密な検査項目となっています。

がん検診は、その特定のがんに特化した検査を行うこととなります(胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診等)。

この2つを組み合わせることがより早期発見につながります。「森を見て木を見ず」という格言がありますが、これに当てはめると理解しやすいと思います。つまり、健診が森で、検診が木なのです。健診だけでは早期発見は困難です。自覚症状のない早期がんの発見には検診まで行うことがより重要と考えられます。

現在、コロナ感染症は終息までには至ってはいませんが、3年前に比べれば落ち着いてきていると言えるでしょう。これを機会に健診から検診までを考えてもよいかもしれません。早期発見できたがんは治る可能性があるのですから。